

Havelok (ll. 305-346)

「ああ、」 Huwe は言った、「私は生まれて、
パン麦を食べてきて今まで、
ここでこんな痛ましい光景を見ることになるなんて！
Roberd、William、どこにいる？
二人とも適当な木の棒をつかめ、
(311)そして我々の主人の復讐をするまで
(310)あれらの犬どもを逃がさないようにしよう。
速く来て私について来い—
私は手にとてもちょうど良いオールを持っている。
激しく攻撃しない者には災いあれ！」
「はい、望み通りに、ええ！」 Roberd はすぐに言った、
「とても良い月の光が出ている」
(318)一頭の牛を持ち上げられるのと同じくらい
(317)頑丈で大きな一本の棒を Roberd はつかんだ、
そして William Wendut は一本の木の棒をつかんだ、
(それは) 彼の(身長)の三つ分よりもずっと大きかった、
そして Bernard は自分の斧をととても素早く握った
(私は彼(の武器？)が最も小さくなかったと言っている(=最大だった？)、
そして彼らは怒れるままに駆けつけた
それらの男たち(敵)が立っていたところへ、
そして彼らにととてもひどい傷を与えた。
そこで男たち(Roberd ら)はその連中をひどく打ち据えることができた、
彼らの脇腹の中の肋骨を折ることができた、
そして Havelok のために彼ら(敵)に対してよく復讐することができた！
彼らは腕を折った、彼らはひざを折った、
彼らはすねを折った、彼らはももを折った。
彼らはそこから血を流れ出させた
頭のとっぺんから足の先まで
というのもそこに助かった頭はなかった—
彼らは非常に強い力で頭たちをたたいた
そして頭のとっぺんを割らせたり砕けさせた
茶(髪の毛)も黒(髪の毛)も(全て)。
彼らは彼ら(敵)の背骨を(338)腹のように柔らかくさせた、
そして彼らを泣きわめかせた
まるで彼らが揺りかごの赤子であるかのように、
まるで母親を奪われた赤子のように。

気にかける者に災いあれ！というのも彼ら（気にかける者）はそうされて当然だ—
そこで彼ら（Roberd ら）は何をしたのか？彼らは切り裂いた！
彼らは突き刺し、打った、
げんこつを脳までめり込ませた
それらの 61 人の男たちのうち
一人も生きてそこから出られなくなるまで（攻撃した）。

中英語における“Brown and Black”の用例

1. はじめに

Havelok において“of þe broune and of þe blake” (1909)という色を表す単語の組み合わせによって“one and all”という意味を表す箇所が見られる。これはセットフレーズのように使用されているのか Corpus of Middle English Prose and Verse を使い調査した。

2. 用例

“One and all”という意味で使用している例は合計 3 例見られた。うち 2 例は *Havelok* からである。

1) *The lay of Havelok the Dane* (composed in the reign of Edward I, about A.D. 1280)

“With hem com mani chanbioun, / Mani with ladde, blac and broun; / An fel it so, þat yunge men, / Wel abouten nine or ten, . . .” (1007-10)

“And made croune[s] breke and crake, / Of þe broune, and of þe blake; . . .” (1908-9)

2) *Peter Langtoft's Chronicle* (by Peter of Langtoft, d. 1307?)

“Normundie alle down, mykelle þer of is brent / & slayn blak & broun of alle þat he mot hent. / I wille of þat feloun tak vengeance, / þat fo fordos my co / . . .” (p.197)

Blak と *broun* の文字通りの意味としての例は一例見られた。

3) *Lydgate's Reson and sensuallyte* (by John Lydgate, 1370?-1451?)

“And of colour blak and broun, / and so foule that yt was wonder, / more dredful than stroke of thonder, / and hateful vpon euery syde.” (5484-7)

3. まとめ

“One and all”を意味する“brown and black”の組み合わせは *Havelok* 以外では一例のみ見られたため、*Havelok* の作者のみが作り出した表現ではないことが分かった。